

緊急技術情報（水稻・園芸）

平成26年4月25日

日高農業改良普及センター

～霜注意報に伴う注意喚起～

本日、室蘭地方気象台から日高地方に「26日朝の霜注意報」が出されました。

つきましては、今後の気象情報に十分注意し、次の技術対策を参考に状況に応じた適切な対応に努めてください。

◆水稻育苗中の保温対策

- (1) 育苗期間中に極端な低温や降霜が予想される場合は、ハウス等の保温管理を徹底し、保温資材や加温器具等で保温に努める。
- (2) 二重トンネルで被覆することが最も有効であるが、設置できない場合は、各種保温資材のベタがけや加温器具等で保温する。ただし、苗床の過湿には十分注意し、気温の上昇時には早急に保温資材を除去する。
- (3) 苗に降霜があった場合は、日の出前に被覆資材を掛けゆっくり溶かすか散水することで被害を軽減する。

◆野菜・花き（施設）

- (1) 作物の生育適温を下回る気温で経過する場合、夕方は早めに閉めて夜温を確保する。
- (2) 気温が低下した夕方や早朝は、ハウス内にモヤが発生する場合がある。
灰色かび病や菌核病、べと病等の発生が多くなるので、一度モヤ抜きの換気を行うなど湿度が高まらない管理を行う。
- (3) 品目によってはマルチ資材やベタがけ資材等を活用し、保温管理を行う。

作業事故防止を心がけましょう！